

高等学校

教科【工業】

単元【工業技術基礎：プリント配線について学ぼう】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

オンラインによる技術指導に加え、共有シート等のICTを効果的に活用することで、他者との対話のレベルが上がり、学びが深まる。

ICT活用のポイント

- ・アンケートの効率的なデータ化とともに、リアルタイムでの先端技術の視聴が可能
- ・報告書をクラウド上で提出することにより、生徒・教員間の情報の効率化

使用する
ICT機器

PC、タブレット等

使用するアプリ・
クラウドサービス等G Suite (Classroom、フォーム)
ロイロノートクラウド
の活用
教材の配付・回収等
生徒の学習状況の把握
資料等の共有
その他()
本時の
ねらい

増幅器を内蔵したスピーカ製作を通して、はんだ付けの技術を身に付けるとともに、各 부품の特性を理解し、回路や組立工程を創意工夫する能力を身に付ける。

主な学習活動
(学習場面)


ICTの活用・留意点等

評価

導入

○本時の目標を
確認する

一斉

 Classroomにアクセスし、本時の
目標を確認する。

指針2

クラウド

- ・フォームで作成したはんだ付けの経験の有無をアンケートに回答 (自動集計結果を教師が確認)

指針4


クラウド



展開

○部品の特性及
びはんだ付け
についての説
明を聞く

一斉

 部品の特性を説明するとともに、はんだ付
けの手順及び注意点を演示する。


- ・オンラインにより、卒業生などの現場で活躍する職人に『匠の技』を披露してもらおう。

指針3

ICT機器

○はんだ付けの
練習


個別

 各自ではんだ付けの練習をする。


- ・教員による演示の動画 (事前録画) を継続して上映する。

○作品の製作

個別

 各自が製作に取り組み、作品を完成する。
○考察した結果
について話し
合う

協働

 部品の特性や、作品の製作を通して身に付
けたはんだ付けの技術などをグループ内で
共有し、Classroom上のシートに書き出す。

指針4

クラウド


ここで評価

【思】作品の製作を通して、各 部品の特性を理解し、回路や組立工程を創意工夫する能力を身に付け、その成果を表現している。

終末

○本時の
振り返り

個別

 期日までに、実習の報告書をクラウド上に
提出 (ロイロノート)

指針4

クラウド